

第3回秋田市マイタウン・バス南部線 雄和地域運行協議会議事要旨

開催の日時 平成22年12月11日(土) 午後2時30分～4時40分

開催の場所 秋田市雄和地域活動センター 大会議室

委員数 16名

出席委員 10名

議事 運行内容について

事務局	1 開会 会長欠席のため、議事の進行を会長代理にお願いする。 2 議事
会長	挨拶 議事に入る。運行内容について、事務局から説明願う。
事務局	(資料に沿って説明)
会長	(路線延伸を想定した場合の提案事項について) 意見はないか。
委員	秋田赤十字病院までの延伸と新都市交通広場までの延伸では、どちらが実現可能か。 新都市交通広場まででも、利便性はあがるのではないか。
事務局	本数によると思う。 河辺地域では、秋田赤十字病院までの延伸は、朝の行きのための便1本、昼頃の帰りの便が1本という要望であった。
委員	運行方式はB案とC案のどちらかだと思うが、どちらが利用者にとって便利なのか。予約はどのようにするのか。
事務局	現在、河辺地域のBコースで行っているように、自分が利用したいバス停の通過予定時刻の1時間前までに電話で予約していただく。 C案では、幹線のバス停までの接続で、タクシー車両を時間帯借り上げるイメージで考えている。

委員	予約式よりも、曜日運行のほうが便利なのか。
事務局	決まらないようであれば、先に路線の協議をしていただいてもよいが。
会長	では、②の路線について意見はないか。
委員	決めやすい③、④本数からでもよいのではないか。
会長	では、それについて意見を伺いたい。
委員	秋田赤十字病院までは、Aコース・Bコースとも朝1本ずつ。 帰りは、河辺コースも利用できるだろうし、秋田赤十字病院へ～新都市交通広場までは路線バスの本数も多い。 帰りもそれぞれ1本ずつあれば便利だが。
会長	四ツ小屋駅を経由して行くのであれば、電車との接続も考慮しなければならないか。
委員	電車を通う学生がいるので、外せないと思う。
会長	バスを利用して四ツ小屋駅まで行っている学生は、少ないのではないか。 やはり料金が安いせいか。
委員	料金のこともあるとは思いますが、この地域では小学生の頃から家族に送迎されて通学している子供が多い。安全の面から等理由はあるだろうが、中学生・高校生になったからといってバスを使うという気にはならないと思う。
委員	前回提言した内容がまだ実現されていない中で、あれこれ要望しても仕方ないのではないか。
事務局	今後、路線バス事業者と協議していく上で、具体的に詰めていかなければならないので、今回皆さんにお願いをしている。
委員	現在の時刻表をベースに、どの便を延伸するか考えてはどうか。 Aコースの下り①便には、6カ月の定期券を買って利用している方もいるので、そこは動かさないとと思う。いろいろな方向から考慮しなければならない。

委 員	秋田赤十字病院での診察は、ほとんどの人が予約だと思う。朝病院へ行く便と、昼頃帰ってくる便があればよい。 枝線については、高齢者の利便性を考えてほしい。
会 長	バスの時刻に合わせて、病院の予約をとることもできるのではないか。秋田赤十字病院まで延伸する便については、朝はAコース・Bコース各1本ずつでよいか。
委 員	1本ずつでよいが、時間をずらして運行してはどうか。
委 員	帰りは13時頃病院発でよいのではないか。
委 員	運行形態は、I案の直通便でよい。
委 員	運行方式の曜日運行はどうか。
会 長	実際のところはどうか。
委 員	河辺Bコースは予約式だが、運行開始当初は苦情が多かった。 運行事業者としては、曜日運行の方がよい。ただし、予約式だと予約が入らなければ運行しなくてよいので、効率はよい。一長一短である。
事 務 局	新都市交通広場まで延伸する便は何便必要か。
委 員	四ツ小屋駅～新都市交通広場間は6分で運行できるとすれば、秋田赤十字病院までの便以外の便は全て新都市交通広場まで延伸してほしい。
事 務 局	車両も限られており、実際にダイヤを組んでみなければわからないが、可能な限り新都市交通広場まで延伸することでよいか。そうすると、ユアシスへ行く便の接続などの地域内の利便性はあがらないが、よいか。
委 員	ユアシスを利用する人はそんなに多いのか。
事 務 局	アンケート結果に出ているし、要望は多い。
委 員	枝線を予約式にした場合、帰りの予約はどうなるのか。
委 員	行きの便で降りる際に、帰りの便の予約を運転手に伝えてもらってもよいし、帰りの幹線の便でも、秋田赤十字病院～四ツ小屋駅間であれば、運転手に伝えてもらえれば、無線での対応は可能かと思う。

事務局	ここで確認しておきたいが、①運行方式のB案の曜日運行とは、現在の定時定路便が決められた曜日のみ枝線を運行することである。曜日によって枝線～幹線を小型車両で運行するわけではないので、誤解のないようをお願いしたい。
委員	Aコース、Bコースの2台共秋田赤十字病院まで行く必要はないのではないか。雄和市民センターや四ツ小屋駅でどちらかに乗り替えて、1台は病院まで、もう1台は新都市交通広場で折り返せば、地域内の利便性もあがるのではないかと。
事務局	当初の目的が乗り継ぎの負担の軽減である。 Aコース、Bコースでは路線の距離が違うので、仮に始発を同時に出発したとしても、自ずと到着時間はずれる。
会長	だいぶ時間もおしてしまっているのですが、本日は、 ①秋田赤十字病院まで延伸する便は、行きが9時頃まで病院着、帰りは12時頃病院発をAコース、Bコース共1本ずつ。 ②①以外の便は新都市交通広場まで延伸する。 の2つをを決定するというのでよいか。 それ以外については各自資料を持ち帰り、次回までの宿題ということにしたいがどうか。
委員一同	(異議なし)
会長	以上で本日の議事は終了する。
事務局	これを踏まえて、次回資料を提示する。

—協議会終了—